

目 次

序 文 (林 武) ..	iii
序 章 (山本弘文) ..	3
第1章 伝統的交通・運輸体系 (山本弘文) ..	7
(1) 道路	7
(2) 河川運輸	9
(3) 沿岸海運	10
第2章 移行期の交通・運輸事情		
—1868~1891(明治元~24)年—	13
I 政策 (増田廣實) ..	13
(1) 明治初期の運輸政策	14
(2) 殖産興業政策と交通・運輸	16
(3) 企業勃興期の交通・運輸	19
II 鉄道 (原田勝正) ..	21
(1) 鉄道建設の決定	21
(2) 鉄道の開業と技術自立への道	24
III 道路 (山本弘文) ..	28
(1) 車両輸送の登場	28

(2) 都市交通の発展	32
(3) 道路の改修と建設	33
IV 沿岸海運と河川舟運 (増田廣實)	38
(1) 開国と沿岸海運	38
(2) 新政府の海運政策と沿岸海運	39
(3) 殖産興業政策と沿岸海運の発展	40
(4) 全国運輸機構の確立と河川舟運	42
(5) 河川舟運の発展と起業基金事業	45
(6) 河川舟運と鉄道との補完	47

第3章 鉄道優先時代の交通・運輸

—1892~1909(明治25~42)年—	51
I 政策 (原田勝正)	51
(1) 交通政策の転換	51
(2) 鉄道優位の政策	53
II 鉄道 (原田勝正)	56
(1) 鉄道網の拡大と輸送力の増加	56
(2) 技術の自立と規格化の進行	58
(3) 官・私両鉄道の競争	60
(4) 鉄道国有の実施	61
III 道路 (山本弘文)	64
(1) 鉄道貨物取扱業者の急増	64
(2) 有力な運送請負業者の出現	65
(3) 輸送手段と道路建設の推移	66
IV 沿岸海運と河川舟運 (増田廣實)	68
(1) 海運企業の確立と沿岸海運	68
(2) 日清戦争の影響	68
(3) 日露戦争の影響	71

- (4) 関係法規と港湾設備の整備 72
 (5) 河川舟運と鉄道の競合 73

第4章 交通・運輸技術の自立

- 1910~1921(明治43~大正10)年— 77
- I 政策 (青木栄一) . . . 77
- (1) 鉄道院の成立 78
 (2) 鉄道政策をめぐる論争と軽便鉄道政策 79
 (3) 交通技術の自立 84
 (4) 大都市交通の台頭と公営交通の普及 84
 (5) 道路の整備と河川改修 87
- II 鉄道 (青木栄一) . . . 88
- (1) 広軌改築計画の推移 88
 (2) 鉄道車両の国産と標準化態勢の確立 91
 (3) 列車の高速化とその停滞 95
 (4) 電気鉄道と電車の発達 96
- III 道路 (山本弘文) . . . 98
- (1) 混合交通の進展 98
 (2) 道路法の制定と道路の改修 100
 (3) 鉄道貨物取扱業の改革 102
- IV 沿岸海運と河川舟運 (増田廣實) . . . 104
- (1) 第一次大戦の影響 104
 (2) 内航貨物の増加と質的变化 106
 (3) 造船技術と輸送手段の発展 107
 (4) 都市内河川舟運の発展 110

第5章 交通・運輸体系の統合

- 1922~1937(大正11~昭和12)年— 115

I	政策	(青木栄一)	115
(1)	改正鉄道敷設法と建主改従政策		116
(2)	大都市構造とその交通の変容		118
(3)	鉄道と自動車の競争		121
(4)	観光開発と交通		123
II	鉄道	(青木栄一)	124
(1)	鉄道車両技術の自立と発展		124
(2)	自動連結器と空気ブレーキの採用		136
(3)	特急列車の大衆化と発展		138
(4)	幹線鉄道の改良		139
(5)	貨車航送の発達		140
III	道路	(山本弘文)	141
(1)	自動車の輸入増加と国産車の育成		141
(2)	自動車交通の発展		143
(3)	鉄道貨物取扱業者の統合		145
IV	沿岸海運と河川舟運	(増田廣實)	147
(1)	世界恐慌と沿岸海運		147
(2)	造船技術の発展と臨海工業地帯の形成		149
(3)	自動車の進出と河川舟運の衰退		152

第6章 戦時下の交通・運輸

	—1938~1945(昭和13~20)年—	157	
I	政策	(原田勝正)	157
(1)	戦時体制下の交通政策		157
(2)	戦時下の交通統制とその矛盾		160
II	鉄道	(原田勝正)	164
(1)	戦時輸送体制の強化		164
(2)	アジア大陸連絡輸送体系の構想		167

(3) 戦時輸送のための諸施策	168
III 道路 (山本弘文)	171
(1) 戦時下の自動車工業	171
(2) 道路輸送業者の統合	172
IV 沿岸海運と河川舟運 (増田廣實)	176
(1) 第二次大戦と沿岸海運の統制	176
(2) 第二次大戦の影響	177
(3) 河川舟運の終末	182
第7章 戦後復興期の交通・運輸	
—1946～1954(昭和21～29)年—	185
I 政策 (原田勝正)	185
(1) 占領体制下の交通政策	185
(2) 経済再建と交通体系の変化	188
II 鉄道 (原田勝正)	191
(1) 鉄道輸送力の復旧	191
(2) 動力近代化と技術革新	195
III 道路 (山本弘文)	196
(1) 戦後改革と道路輸送	196
(2) モータリゼーションの開幕	198
(3) 道路法の改正と道路の改修	199
IV 内航海運 (増田廣實)	201
(1) 占領下の内航海運	201
(2) 朝鮮戦争の影響	203
(3) 船腹過剰問題	206
第8章 交通・運輸の新たな展開	
—1955～1980(昭和30～55)年—	209

I	政策	(原田勝正)	209
	(1) 高度成長体制と交通政策		209
	(2) エネルギー転換と交通体系の変動		213
II	鉄道	(青木栄一)	217
	(1) 鉄道車両技術の革新		217
	(2) 電化区間の拡大と交流電化の登場		221
	(3) 新幹線の開業		223
	(4) 大都市地下鉄網の拡大		226
	(5) 路面電車の衰退と新しい中量交通機関の模索		228
	(6) 運転の安全性にかかわる技術の発達		229
	(7) 鉄道連絡船の改良と衰退		230
III	道路	(山本弘文)	231
	(1) 自動車工業の発展		231
	(2) モータリゼーションの進展		232
	(3) 一般有料道路と高速道路の建設		236
IV	内航海運	(増田廣實)	238
	(1) 経済高度成長と内航海運対策		238
	(2) オイルショックの影響		241
	(3) 内航海運の近代化		242
結	章	(山本弘文)	247
	参考文献		251
	交通・運輸関係年表—1868~1984(明治元~昭和59)年—		253
	地名・人名索引		263
	事項索引		266